



◆第13期年次総会報告

- ・年次総会
- ・「特別講演」堀場最高顧問
- ・「会社の近況」堀場会長兼社長
- ・会員懇談会
- ・懇親会

◆第1回定例幹事会

◆クラブ活動報告

- ▶ 山遊会
- ▶ カメラ・ビデオクラブ
- ▶ グランドゴルフクラブ

◆堀場OBベンチャー&ボランティア部会

- ・運営委員会開催
- ・堀場OBベンチャー&ボランティア部会忘年会開催
- ・鴨川を美しくする会「鴨川清掃」に参加
- ・宮の森公園、堀場製作所周辺清掃を実施

◆NPO法人京都シニアベンチャークラブ連合会

- ・連合会活動に参加
 - ▶ 中央市場見学・男の料理教室に参加

◆OB会行事報告・案内

- ・夏の懇親会
- ・レジャー例会（カメラクラブ共催）
 - ▶ 紅葉の鷹ヶ峰を散策
- ・行事案内
 - ▶ 「冬季懇親会」「一泊旅行」のご案内

◆会員寄稿文

- ・白峰三山縦走・・・・・・下川 博司

◆OB会連絡

- ・各種案内ニーズアンケート結果報告
- ・会員情報
 - ▶ 会員の訃報 村井正弘さん

◆ホリバ・ニュース・やぶにらみアラカルト

◆編集後記



第13期がスタート！

11月のOB会鷹峰例会では錦秋を満喫「嵐吹く・龍田の川の錦なりけり」等歌にも詠まれ、もみじは日本の秋には不可欠です。紅葉はアントシアニンのせいだそうです。さて、10月の年次総会にてご承認を得た活動方針の実施には「年間行事予定表」を公開しますので、今期はさらに多数の参画をお願い致します。

第 13 期 年 次 総 会 報 告

年 次 総 会

平成20年10月1日(水)13:00から本社講堂にて宮本さんの司会により開催、今年は、会社都合により例年より早めの開催となりました。また今回の新しい試みとして、総会の場にて出席OB会員との「懇談会」を持ったことでした。堀場厚会長兼社長の「会社の近況」を総会開始前に、また堀場雅夫最高顧問の「特別講演」を結びにお願いしました。



また堀場雅夫最高顧問の「特別講演」を結びにお願いしました。

総会に先立

て去る9月1日に逝去された村井正弘氏への黙祷を行いました。年次総会は、まず第12期中に入会された新



入会員17名の紹介があり歓迎の拍手が送られました。次に古希のお祝いとして今年の対象者11名

の方へ金一封を代表者に贈られました。

新入会員を迎えて平成20年9月20日現在の会員総数は、135人となりました。今後の退職者増加予想から、OB会の会員も急速に増加するものと思われます。

第12期の事業報告では、「堀場ベンチャー&ボランティア部会」が新たに決意した15人の会員によって再スタートしました。堀場OB会の独自活動とKSUVとのタイアップ事業とで幅広い活動を始動しました。これは地域社会への貢献を中心として堀場本社のイメージアップにも貢献することを念頭に入れたものです。

「教養・レジャー部会」では、奥城崎方面への

日帰り旅行、伏見散策そして夏の懇親会等充実した活動を行いました。また1月に行われた堀場製作所55周年式典には、OB会からも設立時の生産状況の発表に山本広太郎氏が出演したことも記念すべきことでした。

クラブ活動は、山遊会の7回にわたる京都一周トレイルを完遂、グランドゴルフは会社周辺の清掃とともに毎月開催、写真・ビデオクラブの2回の例会開催等第13期の本格活動への準備体制が出来ました。

第12期の会計報告は、収入2,407K円に対して、支出1,718のK円となり、諸活動計画に対する参画者がまだまだ少なかったため、その差額689K円が次期繰越金となりました。

第13期事業計画は、前年度をほぼ踏襲し、さらにボランティア活動とクラブ活動に力点を置くことになりました。

幹事体制としては、大志万継影氏が退任され、新たに酒井俊英氏が就任され、また、東京支部では、龍重法氏から福田弘秋氏が就任されました。現時点で、幹事の交代が大幅に遅れており、皆様の中から積極的に協力して頂ける方を求めています。

第13期予算案については、会員の増員が予想



されるためと積極的な参加を期待し、収入・収支2,809K円としました。以上本総会にて事業計画、収入支出予算とも承認されました。

今ステッキをついているのは、老化のためではなく、先日、理事長をしている滋賀ゴルフクラブで、関西オープン（石川遼が最年少、プロで初優勝した）を受けようと、グランドの下見に行った時、ティーグランドへの階段で膝の半月板を割り現在治療中。その間、医学についてはセカンドからサードオピニオンまで各論があることを改めて認識した。



さて、最近のサイエンスも当てにならないことが多い。温暖化防止にCO₂削減と叫ばれているが、圧倒的に多いのは水分の影響ではないか。1980年代は地球寒冷化の恐怖があった。作物の減少、巨大な暖房で石炭、石油の枯渇の心配があった。それが1900年代に急に温暖化の問題化に変わった。イギリスが原子力発電を作るための口実でもあった。またEUはCO₂発生源が少ない国を入れて平均排出量を減らし、そしてその排出権取引で商売をしているに過ぎない。

北極の氷が溶けて水位が上がる件についても、アルキメデスの原理で水位が変わるはずがない。それを新聞とか政治家がどこかの国やサンゴ礁が埋没すると騒ぎ立てている。怖いのはマスコミであり、その無責任さは酷いものがある。この間も、某大臣が日本人は単一民族であるという問題にされたが、普通一般的に単一というとは殆どの人が同じ民族ということで、厳密には100%では無いとしても単一とって何が問題なのか。鉄等身の回りの諸物質でも100%純粋なものは殆どない。

当社も滋賀県の雄琴の土地4000坪の運動場があったが、滋賀県広域の浄水場を作るため、一部売却方要請があった。知事等からの公的事業であり、国道沿いのところを買収した価格で協力した。その変わり古墳があるとされる丘面の地のあまり価値が無い場所の開発は、可能との口約束を

した。実際に開発すると古墳が出てきたが、工事するなという、なぜなら契約時の書類が無いことが理由にされた。こちらか善意で行ったことを書類が無いとのことで酷い目にあつたことがある。

（ことほど左様に当てにならないことが多い）

最近「クオリア」という言葉を提唱している。質感（シツカン）とか広い意味では、感激とか感動ということで、ホッと、ヤッと、グッと来る感動！！である。若い時は感激が多いが年とともに感激が減って行くものと心理学者は言うが、それは逆で、年を取る程もう少し上のレベルでのグッと来るものがある。

あなたはこの一週間グッと来たことありますかと質問をすると、一年間で20%から90%の人は感動が無いという、感動も感激もせずに一年間暮らせる人があればその人は相当忍耐力のある人か、ただ食べてCO₂を排出しているだけですねという皆気分を害して、年に2、3回は感動しますと言う。人間というのは、単に食べて、息をしているのと違って、無意識でも何かを求め、何か選択を持っている。長年生きてきて二度と同じものは無い。昨日と今日とで全く同じということはありません。景色といえども同様で、絶対同じものは再現されない。瞬間、瞬間は一回限りです。

それに対して我々の仕事、サイエンスは毎回同じでないといけない。PHメーターの指示が今日と昨日で違ってはいけない。これをもって品質管理という。これは我々の仕事であり、1+1=2なのです。我々は非科学的なところとの違いをはっきりとさせないといけない。毎日、毎日感激する。若い人の方が感激するというのは、逆で年をとれば、何十年と生きてきた経験から、新しいものを見たとき深いところでアッと感激する。

人間を介在させると不確実になる。人間を介在させない方が再現性は上がる。その代わり一歩も進まない。気象庁は世界中のあらゆるデータを打ち込んで観測している。気象の予報精度は上がったと思うが、確率というものが逃げ口上となっている。例えば10%といってもどこが10%なのか不明である。宝くじなどは、どの場所が良く当

たるかは、完全に販売数量に比例するだけである。結論として、人間というものは、確率的には動かない。いくつになっても感激感動というもの

があるということ。そして新しい人生を開拓するというのは、健康の証でもあることを結びとした。 (抄録)

講演の最後に最高顧問から「この国はどこへ行こうとしているのか おちおち死んではいられない」(毎日新聞社刊)最高顧問を含み著名人48人のエッセイ集が推薦されました。特別に、二割引きで購入出来るように交渉されます。OB会員で購入希望者は、OB会で入手致しますので、ご連絡ください。

会社の近況…堀場会長兼社長

現況では来年一杯は厳しい。半導体関係が最悪で深い谷を懸念。4つのセグメント化により、今期はその成果を期待しているが、来年以降を懸念する。2010年に1500億円の目標はオーバーペースで進捗してきたが、ここえ来て変更を迫られている。また台数は増えても利益確保が困難。新業務システム、マトリックス経営を導入して全体的な効率を上げている。

日本での生産は、会計処理等目に見えないコストアップ要因があり、それにも戦って行かねばなら

ない。ワンカンパニー化については、2003年フランス2社買収、ドイツ1社買収、5000人近くの従業員中30

000人が外国人で、国籍、性格の違う人々を一つにするためブランドを統一している。そしてセグメント別に業務管理システムで全体の効率を上げ、グローバル化を着実に遂行中である。ターゲットとなる同業他社へ肉迫してゆくため、3000億を目指している。

昨年から堀場が分析工業会の会長になった。今まで事業ごとに委員長が牛耳っていたが、審議する前に既に決定していることがあり、公平性から、「企業戦略会議」を設立し、形骸していた理事会を改善、フェアな運営になってきた。その結果展示ホールの増設、海外からの参加者の増加、

技術セミナーの充実等及び外国への働きかけ等で分析工業会全体の世界的な地位向上に注力した。4年間の任期を果たしたい。先週ダボス会議 天津(昨年は大連)1500人が参加、1200人中、日本人は2~30人と少数で欧米中心であるが、様子見で行ったつもりが、その会議に招かれた。呼ばれただけでも大変名誉なことと言われ、パネラーとして出席、その進行の速さに頭をフル回転させられ、日本での会議に比べ、絶対的なスピード感の違いを感じた。

委員はアドミ、金融関係が多く、製造業は少なかったのも、それなりに技術の日本をアピール出来たと思った。一般的に日本人は、マネジメント、プレゼンテーション能力が低いし、コンフィデンス、確信が無い。今回結果としては、好評価を得たが。ただ日本の地位向上としては、政治力、政治家の資質に待つところも多いと思った。

トピックスとして、9月にモンペリエに試薬6000t/年の生産工場を完成、薬液は1/2が売上と大変重要。

8月末びわこ工場の地鎮祭を行った。半導体、シエンクのシャシダイ重量級 流通倉庫も来年完成する。7月朽木研修所(15年経つ)を増築、2.5倍とし100名クラスの研修可能な部屋を2室設けた。OB会の研修会にも使用してほしい。トピックスとして、フランスでパリのエコポリテック大学のリサーチパークの隣にジョバンイボンの工場を持って来てくれないかとの誘いがあった。大変名誉なことで名門大学が声をかけてくれたことは金に代え難いことで、フランスの産業化に対しての要望を感じた。オリンピックでは



林勇氣さんがアーチェリーで団体8位に、また南極での青山朋樹さんの活躍等幅広い貢献もしてい

る。(抄録)

会員懇談会

今回は、年次総会にて、出席の会員とOB会の諸活動等について、率直なご意見、ご提案を頂くため、事前に開催案内とともに参考資料を配布し、初の「懇談会」を設けました。



残念ながら、所定時間が短くなり、多くの皆さんのお声は聞くことが出来ませんでした。事前に書簡で寄せて頂いた分も含めて、ご意見、ご提案等を頂くことが出来ました。事後、今回の様な懇談会は、大変有益と判断し、次回からもう少し時間を取り実施して行く予定です。

また今回のご意見から、早速、改善して活動を実施してゆくこととし、そのため幹事と共に活動の軸となる協力者をお願いして実施してゆくことになりました。

— 意見・ご提案 —

1. 教養・レジャーについて

- ・海外旅行も計画して欲しい。堀場の海外子会社訪問も兼ねてはどうか。頻度は、5年に一回でも良い。家族も同伴出来るようにしては。
- ・国内一泊旅行の費用は、25000円位までにしては。
- ・教養と大上段に構えず、美術館等身近な施設を利用すれば。

2. クラブ活動について

- ・グランドゴルフは手軽なので参加したい。
- ・ゴルフクラブも設定しては。

3. ベンチャー&ボランティア活動について

- ・NPO活動等、社会貢献も積極的にすれば。

4. 懇親会について

- ・特になし

5. OB会報・HPについて

- ・OB会員の寄稿は、それぞれの生活の場において歴史的な旧跡等を皆が投稿しては。

6. OB会の運営、幹事について

- ・年齢別に幹事を決めて、若い人から高齢の人まで幅広い意見を反映すれば。

7. その他

- ・65歳まで定年延長であるが、60歳でOB会に入会してもらえば。

懇親会

年次総会后、恒例の懇親会が4号館3階の食堂にて開催されました。会社からは最高顧問、会長兼社長および会社の幹部多数の出席を賜りました。

宴は、梶並会員の司会により始まり、OB会川越代表幹事の挨拶に引続き、時あたかも世界的な金融危機の中、会長兼社長から危機こそチャンスと今までの業務改革の成果が試される時期が来た等力強いお話を頂きました。そして内山氏による乾杯でスタートし、また今年は、会長兼社長の選





暦に当たり、内山氏から大きな鯛の丸焼きが進呈され、心から祝福しました。今回は特に多数の幹部の出席を得て、宴は大いに盛り上がり、あっという間に時間が経過し、大志万会員の中締めで今年の懇親会がお開きとなりました。

尚、今年も、OB会員の作品展示は、年次総会で「懇談会」を行いましたので、時間の都合で中止しました。



第1回定例幹事会

平成20年11月21日午後、堀場本社のOB会室で幹事の梶並、川越、小谷（昌）、山本、田中（光）、萩原、谷口（東京副代表）各氏の出席のもとで開催されました。

幹事以外の会員全員が何らかの活動に参加して頂きたいと思っておりますので、いつでも気軽に幹事までご連絡ください。

第13期年次総会については、今回、社長の講演を冒頭に置き、会員との懇談会を初めて実施したことは、大変良かったとの評価でした。ただもう少し時間が欲しかったことと、事前にテーマについてのアンケートを取っておけば等の反省を行いました。

◆第13期事業方針について

- ①運営方針は、会員相互の懇親機会の増加社会への貢献積極化そして会社との連携強化を軸に活動して行きます。協力して頂ける方を募集します。
- ②OB会活動については「活動毎にリーダーを決めて推進することになりました。
- ③会員のニーズに合わせるため、案内の要・

不要のアンケートを取り、必要な方に諸案内を通知することになりました。

- ④会社との連携については、現在の厳しい状況の中、さらに緊密な関係を保ってゆくことを確認しました。

◆第13期の諸活動の活発化と案内

懇親会・教養・レジャー部会等を「年間計画一覧表」にまとめ、会員に行事スケジュールの予定が分かるようにしましたので、多数の参加をお願いします。

◆会員による個別活動計画

今期は、クラブ活動の本格始動として、山遊会、グランドゴルフクラブ、テニスクラブ、写真・ビデオクラブ、またゴルフクラブも検討中で、会員の参加を増やすためのPRについては、皆様のアイデアもお願いします。

重要事項として、現在の幹事体制は是非とも刷新して行く必要がありますので、会員の皆様の積極的な参加、協力をお願いすることになりました。

クラブ活動

山遊会

— 第7回例会 —

前回で京都一周トレイルを完歩し、暫くは北山をメインに活動することにして、今回は魚谷山へ向かった。8時30分出町柳駅発の京都バス37系統で、出合橋に9時16分下車。直ちに歩行を開始。中津川沿いのアスファルトの林道を30分、松尾谷出合からコースを左に取り、松尾谷に沿って魚谷峠を目指す。途中から地道となり、10時52分魚谷峠に着く。芝栗を拾いながら20分ほど休み、林間の小径を分け入り、11時20分魚谷山（816m）に到着、記念撮影をする。ここから柳谷峠を経て細ヶ谷の荒れた道を降る。クリンソウの群生地を通り北山荘へ向かう。北山荘は元京都一中の小屋で、現在は洛北高校と鴨沂高

校の山岳部OBが管理されている。当日はたまたま小屋の補修に10名ほどが入山されており、12



時前に到着し温かい歓迎をうけ、火の入った囲炉裏端で昼食を摂らせてもらうことが出来た。12時35分小屋を辞して谷を少し降ったところに、今西錦司のレリーフがありカメラに納める。

道を間違え少し遠回りをして13時30分滝谷峠に出た。

ここから二ノ瀬ユリのコース、整備された道

を進む。途中で「左り展望コース」の案内がありこれを選ぶ。比叡山から大原へ伸びる山並みが、木の間越しに広がる。コースを変えたため、貴船山への分岐がないまま15時大岩・夜泣峠の分岐で二ノ瀬ユリのコースに戻る。多少の反省と貴船山への未練を残しながら15時50分叡電二ノ瀬駅に到着、本日の山行を終了した。出町柳駅まで戻ってきて散会とする。

カメラ・ビデオクラブ

平成20年11月27日(木) 鷹峰方面へOB会レジャー例会と共催で、京都西北の鷹峰方面を散策しました。錦秋と言うには少し過ぎていましたが、暑くもなく、寒くもない絶好の行楽日和でした。

コースは、光厳天皇が庵を結んだのが始まりで、桜でも有名な「常照皇寺」、悟りの窓と名づけられた丸窓と、迷いの窓の角窓で有名な「源光庵」、本阿弥光悦の一族や知己と芸術村が営まれ、光悦の死後創建された「光悦寺」、そして紅葉の隠れた名所と言われる「吟松寺」と存分に美しい紅葉を愛でることが出来ました。最終地点の

しょうざんの和食「紙屋川」で昼食を取り、ゆっくりと寛いだ後自由解散となりました。参加者の中には、さらにしょうざん内の北庭園にも入園されました。カメラクラブ以外の参加者も美しい紅葉に向けて盛んにシャッターを切っておられました。今回は時間的にも、距離的にも余裕のある例会となり参加者全員快い疲れとともに帰路に着か参加者：

浅島 芳雄、神吉 治、萩原 孝一、
東 信好、小谷 昌男、周田 光男、川越 幹、
高橋 義治、矢野、山本広太郎、宮崎 育雄、
田中 光子、吉井 忠彦

グランドゴルフクラブ

グランドゴルフもリーダーのご努力下、今年の12月で13回目と回を重ねています。

これは、勿論誰でもプレイが可能なスポーツであることと、運営の上で年間計画を決めて毎月実行していることが、定着してきたものと思われまます。

また、場所的にも恵まれ、会社の裏にある「宮の森公園」が使用できることと近隣のグランドゴルフグループの方々のご協力と親密な交流のお陰といえます。

開催日を日曜日から土曜日になり、参加し易くなりました。また、前もって届けておけば、会社の駐車も可能となりますので、来年は、健康増進のためにも気軽に参加



して頂きます様お勧めします。

堀場OBベンチャー&ボランティア部会

— 運営委員会開催 —

12月5日（金）第13期1回目の運営委員会を堀場OB会室にて9名の登録者出席により開催しました。

「堀場OBベンチャー&ボランティア部会」は、前期より、従来の「堀場OBベンチャークラブ」を、ボランティア活動を加えた拡大組織として発足し、前期の活動実績は、①宮の森公園と堀場周辺の清掃、②鴨川清掃に参加、③エコメイト登録（京エコロジーセンター）などであり、13期も引

き続き、この活動を進める事になりました。

◆13期の重点テーマ

- ・ボランティア活動に参加いただける部会員の募集、
- ・「鴨川を美しくする会」主催の鴨川清掃への団体登録

部会メンバー以外の会員の皆様も登録いただき、ボランティア活動参加をお願い致します。

— 「堀場OBベンチャー&ボランティア部会」忘年会開催 —

今年1月に名称も新たに発足した「堀場ベンチャー&ボランティア部会」の締めくくりとして去る12月5日、第2タワーホテルにて忘年会を行いました。時間制限も無く「飲むは・・・食べるは・・・」の大騒ぎ。

“そんなに食べて大丈夫か？・・・” “これステロールが増えるぞ・・・” など飛び交う中、楽しくお開きとなりました。

この一年間NPO法人京都シニアベンチャークラブ連合会（KSVU）と行動、企業見学会、鴨川清掃、男の料理教室、そして宮の森公園清掃・グランドゴルフ、企業支援準備などを通して活動しました。

特にKSVU参加クラブの企業見学では、今年「堀場本社」を会員の皆さまにご覧いただきました。最新の「堀場」をご理解頂いたと確信しています。

工場案内などお手伝いを頂いた社員の皆さまに

改めてお礼を申し上げます。

また、今年も3年連続、京・エコロジーセンターにOBからエコメイトを送り込む事ができ、



市民レベルの環境保全に貢献でき、企業としての「堀場」も世間にアピールできるでしょう。次年度は更に活動を広げる為にも新規会員の増員が期待されています。多くのOBの皆さまに入会をお願いいたします。

— 鴨川を美しくする会「鴨川清掃」に参加 —

10月19日（日）、鴨川を美しくする会主催の第15回「鴨川合同クリーンハイク」が70団体の約1400名参加のもと開催され、堀場OB会より4名が参加しました。

鴨川を美しくする会は、昭和39年に鴨川美化運動を目的として結成された河川愛護団体で永年に

亘り美化運動をされており、その一環として「鴨川クリーンハイク」が実施されています。今回は、御菌橋から塩小路橋までの約8kmで行われ、堀場OB会は丸太町橋から三条大橋までの約1kmのゴミ拾いを担当しました。

当日は良い天候に恵まれ、心地よい汗を流しハ

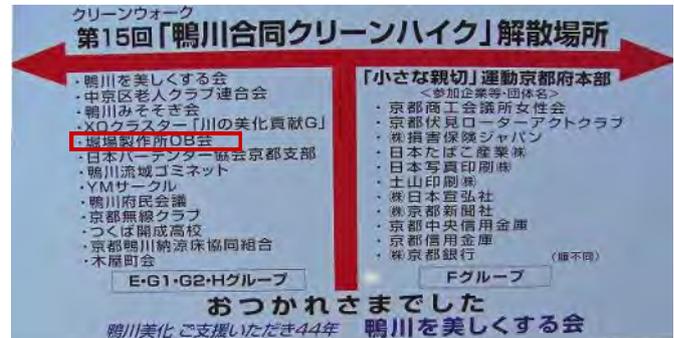
イク気分に参加者と会話を交えながら道端のゴミ拾いをしましたが、大きなゴミは意外と少なく広い集めたごみは大半がたばこの吸い殻でしたが全体で約2トンのごみが集まり大きな成果が得られました。

今後、堀場OB会として鴨川清掃に積極的に参加するため団体登録を行う方向で検討しており多くの会員が参加いただくようお願い致します。



参加者

川越 幹、小谷 昌男、周田 光男、山本広太郎



— 宮の森公園、堀場製作所周辺清掃を実施 —

会社の周辺と宮の森公園の清掃日をグランドゴルフクラブの例会日と合わせて、実施しています。最近、堀場従業員も清掃されているので、概して綺麗に保たれていますが、土曜日等の休日については、宮の森公園を主体にこれからも、目に付いたゴミ拾いを継続して行きたいと思っています。

これは、清掃のみでは出掛け難いですが、グランドゴルフと合わせて、楽しさとボランティアを同時に実施することでやり甲斐も享受できますので、大いに参加してください。尚、ボランティア活動としては、別に鴨川クリーンハイクも参加し

ていますので、こちらの方でもご協力をお願いします。



NPO法人 京都シニアベンチャークラブ連合会

連合会活動に参加

— 中央市場見学・男の料理教室に参加 —

10月21日(火) NPO法人OXクラスター主催の行事にOB会員4名が参加した。早朝7時すぎにJR丹波口に集合して、七条側から中央市場を、2班に分かれて見学した、毎日5~6時頃からの鮮魚などの競りは殆どが終わり、この時間帯は通路や場内は運搬の車や荷物などで毎日大混雑だ

と。仲買店内ではもう大きなマグロの解体が行われており、広い競りの場内にはまだ運ばれていない100kg近い大マグロが並べられていた。南北800mもあり甲子園球場の約4倍もある市場内は余りにも広くて、何処にいるのか判らなくなる。しらす干しを扱っている仲買店で、種類の多さに驚



き、産地や季節などで色も味も違い、値段が大きく異なることを教えてもらう。9時45分から最も期待していた今日最後の競りを見学する、近郊の農産物で売り手と買い手が向き合い、その間のローラー上に見本の商品を通し、早口の独特の言い方で意味不明（私達には）の競り声が響きはじめる、場内には何箇所か同じような競り場所があり、同時に開かれるので賑やかになる。こんな競



りも産地と消費者の直接取引や、ネット販売などで減少していると案内人は話していた。10時過ぎ

まで約3時間も休息する場所もなく、色々な場所を見学しお礼を言って、すぐ近くで次の行事のある大阪ガスッキングスクールへ移動した。

今回は「粋に楽しむ酒の肴」で、5種類の料理をつくることになり、6名で4組のグループを作り、最初にッキングスクールの先生が、正面で5種類全部を丁寧に、キーポイントなど説明しながら、



作って見せてくれる。そのあと各グループが5種類作る担当を決め、レジメを参考にして、グループのテーブルで料理づくりが始まる、先生に聞きながら、賑やかだが初心者には余裕がない、経験者は要領も良いし手早く仕上げてしまう、仕上がれば別室の各グループのテーブルに並べられ、ビールで乾杯して作りたての料理での昼食となった。今は外食・スーパーなど何でも簡単に手に入る時代だからこそ、時には自分の手料理も良いと思う。

参加者：

川越 幹、萩原 孝一、周田 光男、山本広太郎

OB会行事報告・案内

夏の懇親会

平成20年8月2日（土）午後6時から「がんこ高瀬川二条苑」にて、夏の懇親会が開催されました。参加者は、会社から山下部長を含めて36人と大変盛況でした。また今回は新入OB会員の中から5名の初参加がありました。開宴に先立ち山下部長から会社の近況として、現在大変厳しい状況にあり頑張っていること、またトピックスとしては、朽木の研修所をグローバル規模の教育のため、大幅

拡大の工事に入ったこと等のお話を頂きました。

引き続き、代表幹事より会社の支援へのお礼と今後ますます新入OB会員が増えるため、我々OB会員全員が新しい体制作りのための共働が必要旨の挨拶のあと乾杯を行い宴会がスタートしました。今回は、特別に堀場の社員の方が友達とで結成された「メヌエット」というフルートトリオが、素晴らしい音楽を奏でて頂き、今までとは一

風違って格調高い宴席になりました。また途中、今回初参加者それぞれの自己紹介がありOB会入会に際しての力強いメッセージを頂きました。そしてベンチャー&ボランティアの小谷代表より活動への参加と協力の依頼も挟まれました。中締めは西尾さん、一本締めは大志万さんにて行い、連



日の猛暑を吹き飛ばし今までの中でも最高に盛り上がった懇親会がお開きになりました。



レジャー例会(カメラクラブ共催)

— 紅葉の鷹ヶ峰を散策 —

今年最後のレジャー例会とカメラクラブの合同例会が、11月27日(木)に行われた。予報の雨もなく、今年最後の紅葉を楽しもうと、北区鷹峰の源光庵前のバス停で下車して、大勢の後に続き、始めに常照寺にお参りする、ここももみじが綺麗でしたが、少し歩いて次の源光庵は、紅葉がより美しい庭園があり主に本堂内から拝観した。ゆっくりと縁側から眺め、また薄暗い本堂内から座して丸い形の「悟りの窓」と右の角型の「迷いの窓」を通しての紅葉のある庭園の眺めは心に沁みるものがあった。

西にそぞろ歩きのと、光悦寺の庭園を拝観した、斜面に色々な建物を配置しそれを巡る回遊式のような庭園で、あちこちに紅葉や杉などの緑も入れて、後ろには錦に彩られた鷹ヶ峯や大文字山が借景となって、また素晴らしい眺めとなっている。名高い竹で編んだ光悦垣根も紅葉でよい観光ポイントになっていた。拝観のあと急な道路を紙屋川まで下り、南へ歩く途中にひっそりと吟松寺があり立寄る。まだ紅葉も見られたが、ここはプロの写真家も訪れる穴場でもあるそうだ。今日見た北部の紅葉の名所は、東山に比べるとまだ観光

客が少なくてよかった。南に歩き「しようざん」グループの色々な建物の中での京料理「紙屋川」で、きれいな年配向きの昼食を食べ、ここで解散



した。あとここの庭園を拝観する人、金閣寺まで歩く人などで楽しい行事を終えた。(萩原孝一)

参加者：

浅島 芳雄、神吉 治、萩原 孝一、東 信好、
小谷 昌男、周田 光男、川越 幹、高橋 義治、
矢野 久雄、山本広太郎、宮崎 育雄、田中 光子、
吉井 忠彦



行事案内

冬季懇親会および一泊旅行を開催します。
同封の「参加・不参加確認はがき」を投函いただくようお願い致します。

なお、「参加・不参加確認はがき」はアンケー

トにより、レジャー例会および一泊旅行の案内を必要とされた方のみ同封しておりますのでご了承下さい。

投函期限：1月15日（厳守）

◆ 冬季懇親会のご案内

「堀場OB会冬季懇親会」を下記の内容で開催します。

- ・開催日時：平成21年2月7日（土） 正午～
- ・開催場所：がんど高瀬川二条苑
木屋町二条下がる東側（島津創業記念館前）
TEL：075-223-3456
- ・会費：5千円（超過分はOB会で負担）

◆ 一泊旅行のご案内

堀場OB会では一泊旅行と日帰り旅行を毎年、交互に開催することになっていますが、平成21年は下記の日程で一泊旅行を開催します。（細部決まり次第、参加者にお知らせします）

- ・開催日：平成21年3月13日（金）～14日（土）
- ・旅行先：北陸 あわら温泉
- ・会費：1万2千円（超過分はOB会負担）
- ・募集人数：25名（先着順）

会員寄稿文

白峰三山縦走

下川 博司

南アルプスの北岳、間ノ岳、農鳥岳を総称して白峰三山と云われている。日本で富士山に次ぐ第2の高峰、北岳（3193m）に登りたいと予ねて思っていたが、今回機会を得て目的を達成することが出来た。

いつもの山仲間の1人から、北岳に行かないかと誘われ、山行を計画し同行者を募り、結果男性4名女性3名が集まった。平成20年7月27日（日）早朝京都駅を出発、新幹線で静岡駅へ、そこで特急ワイドビューふじかわに乗り換え身延駅で下車し、バスで登山口の広河原へ向かう。12時丁度に到着し腹ごしらえと準備体操を終え12時55分登山を開始。標高はすでに1500m比良山山頂より高い。大樺沢沿いを登ること3時間、本日の宿泊地白根御池小屋に到着。鳳凰三山が出迎えてくれる。写真を撮る間もなく、夕

立となり間一髪で雨をかかわす。翌28日（月）5時55分北岳、間ノ岳（3189m本邦第4の高峰）を経て宿泊予定の農鳥小屋まで、歩行時間約8時間30分の行程のスタートを切る。草スベリと言われる急斜面を登り、8時10分小太郎尾根に出た。北に甲斐駒ヶ岳（2967m）その左に仙丈ヶ岳（3033m）を望む。眼前には目指す北岳が聳えている。稜線に行くこと30分程したところで、遠くに雷鳴を聞く。8時45分肩ノ小屋に着くと同時に大粒の雨が落ちてきた。急いで小屋に非難、豪雨となり気温が下がる。雨宿りかたがた名物のぜんざいで寒さを凌ぐ。10時頃ツアー客40名程がずぶ濡れで震えながら北岳から帰ってきて、小屋は大混乱、暫くして別のツアー客20名ほどが戻ってきた。山頂は視界ゼロ、下から吹き上げる雨で大変だったとのこと。ツアーでの山行

は、余程のことがないかぎり、時間に追われながら予定を消化しなければならない。

北岳には世界でここだけに咲く氷河期の忘れ形見キタダケソウがある。「既に時期を過ぎているが、うまくすれば肩ノ小屋で見られるかも」との御池小屋の主人の言葉に期待していたが、雨のため見つける機会を逸してしまった。（後に北岳山荘で同宿者から、肩ノ小屋のお花ばたけでハクサンイチゲの群生のなか、1つだけ見つけることができたと聞かされた）ようやく雨も上がり、11時5分小屋を出た。西からの強風に煽られ足元がふらつく。ガスの中を登ること40分北岳に到着。山頂は先ほどまでのガスが嘘のように晴れ、360度の展望が開けていた。東は出発のときから終始われわれを見守ってくれている鳳凰三山（地蔵岳、観音岳（2840m）薬師岳）、中でも地蔵岳のオベリスは印象的だ。南は間ノ岳、西に塩見岳（3052m）が控えその間に遠く悪沢岳（3141m）・赤石岳（3120m）を望む。



鳳凰三山

間ノ岳の左手はるか富士山が一際高く聳えている。これ程の眺望を他に望みえるか、まったく付いていると云うほかはない。雨で2時間余りロスしたため、農鳥小屋まではとても無理と判断。日程を1日延ばし本日は北岳山荘までとして、翌日は大門沢小屋に1泊することにする。そうであれば小屋は眼下に見えている、昼食を兼ねてこの眺望を十分に楽しむこととした。12時45分名残を惜しみながら頂上を後にする。見えていたとはいえ相変わらずの強風のなか、1時間掛かって小屋に着いた。

7月29日（火）目覚めると外は小雨模様。6時10分出発、雨はやんでいるがガスで視界が悪い。8時



北岳山頂から富士山を望む

5分間ノ岳に着くが、まったく何も見えない。小休止して下山を開始、9時20分本来泊まるはずであった農鳥小屋へ。ようやく天候が回復して快晴となるなか、9時45分西農鳥岳の急坂に取り付く。標高3000mあたりで稜線にでたが、西からの強風に悩まされながらアップダウンを繰り返し、11時5分西農鳥岳（3051m）と思しき頂に立つが、三角点はおろか標識すらない。11時45分ようやく農鳥岳（3025m）に着く。振り返れば間ノ岳、北岳の雄大な山容が目の前にある。「よく越えてきたな」と感激をかみ締める。周りの景色をカメラに納めて、昼食後先を急ぐ。12時55分大門沢下降点に着く。遭難碑の鐘があり、追悼とこれからの安全を祈念して鐘を鳴らす。ここからは大門沢小屋を目指し、ひたすら降ること3時間、16時5分ようやく本日の行程が終了した。



間ノ岳・北岳を背景に

7月30日（水）天候は上々、6時5分小屋を後にして、奈良田温泉に向け下山開始。広河内沿いを降り、吊り橋を3度渡り返し、3重の巨大な堰堤工事

現場を過ぎて、8時30分林道に出た。コンクリートミキサー車が行き交う道を奈良田第一発電所バス停に9時5分に到着。しかしバスの始発はさらに徒歩40分の奈良田温泉駅、おまけに身延駅行きのバスは、13時30分まで無い。登山者のほとんどは、奈良田の里温泉で山での汗を洗い、腹ごしらえをするのだが、生憎と水曜日が定休日、バスの出発まで間がありすぎる。色々聞きまわって、バス路線沿い5キロ先に町営の露天風呂があると知らされ、炎天下を歩くことにする。30分程歩いた道半

ばのところまで西山温泉を発見、一軒の旅館で入浴の交渉をし、昼食の用意もできるとあって靴を脱ぐ。聞けば脱衣所こそ男女別だが混浴とのこと、まずは男性から4日分の汗を流す。宿泊者並にお茶菓子つきの部屋に案内されて昼食を取る。そこへ思いがけなくも一人1個ずつ桃の差し入れがあり、如何に名産地とはいえ女将の太っ腹に大感激する。十分有効に時間を生かしたことに満足してバスの客となった。来たルートを逆に辿り、20時前に京都駅に帰り着き、無事山行を終えた。

OB会連絡

各種案内ニーズアンケート結果報告

今までOB会各行事のご案内を全員にお送りさせて頂きましたが、出欠のご返事が無い方も少なからずありましたが、これは勿論各自いろいろご事情があつてのことと認識致しています。

今回参加、不参加はその時の都合として、案内だけは、欲しいという方と案内自体不要という方の実態アンケートをさせて頂きましたところ、**約40%の方は不要との結果が出ました。**（このアンケートも返って来ない方も含めて）

今後このデータの結果を踏まえ運営させて頂き、事務効率や経費削減に貢献してゆきたいと存じます。

但し、ご事情が好転された方で案内を要求されれば、大変有難いことと切望致しています。

尚、OB会報や年次総会そしてそれに準ずる全体事業に関する案内等は、上記に拘わらず全員にお送りすることにしていきます。

会員情報

— 会員の訃報 —

村井正弘さん

長らくOB会員でした堺市在住の村井正弘さんが、去る9月1日、86歳でお亡くなりになりました。

生前、遠方ではありましたが、OB会には大変お世話になりました。心から哀悼の意を表します。

ホリバ・ニュース・やぶにらみアラカルト

◆びわこ工場建設工事開始

半導体及び自動車計測等大型製品の生産工場及び物流・倉庫機能の集約のため、びわこ工業用地に新工場が建設されます。来春完成の予定です。またロッカールーム、シャワー室等を備えたクラブハウスも建設されます。OB会としても大いに期待してもよさそうですね。

◆2008年第3四半期（1月～9月）決算発表

第3四半期（1月～9月）決算が出ましたが、昨年OB会年次総会時の時点から一転して連結業績はいずれの指標もダウンし、利益面で大幅減益となっています。しかし問題はこれからで、100年に一度と言われるこのたびの世界的な金融危機の影響は、まだ底を打っていません。

びわこ工場の建設や業務管理システム等の大幅投資がここで真価を発揮出来るかどうかにかかっ

ています。OB会として積極的に応援するとともに、注視してゆきましょう。

◆堀場雅夫最高顧問 京都市生涯学習市民フォーラムの会長に就任

去る11月11日(火)京都市生涯学習市民フォーラムとして最高顧問の講演会が京都産業会館シルクホールにて行われました。テーマは「クオリア時代〜グッとくるまち・京都を創ろう〜」でした。今回の講演会は、最高顧問が同フォーラムの会長への就任記念として行われました。

お話は、OB会員としては年次総会で先刻お聞きした内容でもあり、ちょっと優越感を感じた次第

でした。

◆ごみWG 桂川ゴミ拾い

11月9日(日)桂大橋の河川敷にて総勢56名のホリバリアンとその家族によりゴミ拾いイベントが行なわれました。結果として総重量90.5Kgの収穫がありました。また今回は、新製品のU-50を使って、桂川の水質計測が行われ、参加した子供達に計測というものを体験してもらいました。

OB会としても鴨川清掃ボランティアや会社周りと宮の森公園の清掃についてさらに充実して行きたいと思っています。

(JOY & FUN他から抜粋)

編集後記

今年もあと僅か、会報の発行も何とか今年中に発送できました。お正月にでもご覧頂ければ幸いです。年々新入OB会員も増加の傾向であり、今後は、ますます楽しい話題を満載出来ると期待しています。また皆さんの地域の話題もどしどし投稿下さい。

クラブ活動やボランティア活動もやっとなら軌道に乗ってきたとは言え、まだまだ皆さんの参加が足りません。今回の発送には、3月の一泊旅行や春

の懇親会の案内も同封しています。多数の参加をお願いします。そして楽しい会報となるよう皆で築きたいと思います。

今世間は、未曾有(みぞう)の経済恐慌の中にあります。来年は、堀場の業績は勿論、日本の大企業にとっても多難な年になりそうです。皆さんは、経済の活性化のため、大いに消費生活を楽しめますか、あるいは貝の様に閉じますか、考えどころですね。

*
* **堀場製作所OB会** *
* 〒601-8510 *
* 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 *
* 株式会社 堀場製作所内 OB会室 *
* URL <http://www.h5.dion.ne.jp/~ob-hor> *
* E-mail hor60-obkai@k2.dion.ne.jp *
